

# 終の家 棲

急激に進展する少子・高齢化に伴って、高齢者単独世帯が急増しています。そうしたなかで、寿命の伸長、家族の介護力の低下などにより、住み慣れた住宅では生活ができない事例も多くなっています。介護保険制度の財政的な逼迫から、国は施設サービスから在宅サービスへと舵を切り、可能な限り自宅や地域の中での生活が志向されています。

- 1 郊外の住み慣れた戸建て住宅の例  
野田 華奈子（中国新聞「団地」取材班担当者）
- 2 支え合う賃貸マンション居住の例  
岡本 悦生（コミュニティシステム合同会社 代表者）
- 3 地域密着型認知症高齢者住宅（グループホーム）の例  
森信 秀樹（森信建設株式会社 代表取締役）
- 4 既存住宅の高齢者向け改造・改修の例（既存住宅の終の家への活用事例の提案）  
平田 欽也（建築家 一級建築士事務所 アトリエ平田代表）

広島における終の家  
に向けた取り組み事例から  
その課題と今後の展望を探る

定員  
50名  
3/1 申込締切  
入場  
無料  
当日先着順

日時 2014年 3月 9日 日 13:30 ~ 16:30

会場 エソール広島 2階 コローミレー（会議室）  
広島市中区富士見町11-6



主催：NPO住環境研究会ひろしま／ 後援：広島県 広島市 中国新聞社 広島住まいづくり連絡協議会

## スケジュール

13:30	開会の挨拶 / 山下 雄朗 (NPO住環境研究会ひろしま 理事長)
13:35	趣旨説明 / 宮本 茂 (NPO住環境研究会ひろしま 副理事長)
13:55	<b>1 郊外の住み慣れた戸建て住宅の例</b> 野田 華奈子 (中国新聞「団地」取材班担当者) 長く暮らした戸建て住宅は終の棲家としてどのような問題点と可能性を持っているのでしょうか。 取材を通して戸建て住宅の視点から高齢者の終の棲家を考えます。
14:25	<b>2 支え合う賃貸マンション居住の例</b> 岡本 悦生 (コミュニティシステム合同会社 代表者) 高齢者・子育て世帯等の入居者と介護事業者が同居したコミュニティ賃貸共同住宅「コミュニティハイツ (C-CORE) 事業」(東広島市)の事例から、地域が支えあう住まいの可能性を探ります。
14:55	<b>3 地域密着型認知症高齢者住宅(グループホーム)の例</b> 森信 秀樹 (森信建設株式会社 代表取締役) 介護施設を多く手掛けてきた地元建設会社が自ら介護保険制度を利用した「グループホームなでしこ (広島市東区温品、中区富士見町)」を運営し、看取りまで行うまさしく終の棲家の明るい日常などをお話します。
15:25	休憩(10分間)
15:35	<b>4 既存住宅の高齢者向け改造・改修の例(既存住宅の終の棲家への活用事例の提案)</b> 平田 欽也 (建築家 一級建築士事務所 アトリエ平田代表) 設計活動を通じて培った、現在の住宅の問題点や住宅改修のポイントを提案します。
16:05	意見交換と次回以降にむけて問題提起
16:30	閉会の挨拶

## 参加申込書

ご本人

お名前		住所	〒
連絡先	TEL	FAX	E-mail

お連れ様

お名前		住所	〒
連絡先	TEL	FAX	E-mail

お名前		住所	〒
連絡先	TEL	FAX	E-mail

※参加申込書にご記入いただいた個人情報は当NPOからの情報をお送りする以外の目的には使用いたしません。  
 ※席に限りがございますので事前申し込みをお願いします。(メール、FAX等で申し込みください。)

【お問い合わせ・参加申し込み先】



NPO法人 住環境研究会ひろしま

〒734-0022 広島市南区東雲1丁目16-25  
 TEL・FAX:082-285-5839 E-Mail npo@morinobu.jp  
 ホームページアドレス <http://www.morinobu.jp/npo/top.html>